

国際地震工学センター ニュースレター 第 85 号 2012 年 9 月 20 日発行

+++++Contents+++++

1. 15WCEE : 国地センターブース紹介
2. 2011-2012 研修生 23 名が帰国の途に
3. 10 月からまた新たな研修生を迎えて開講
4. 国際地震工学センター職員の紹介

+++++  
=====

[1] 15WCEE : 国地センターブース紹介

9 月 24 日から 28 日までポルトガルのリスボンで開催される第 15 回世界地震工学会議の会場で、国際地震工学センターのブースを設けます。センター紹介と東日本大震災の紹介等をしますので是非お立ち寄り下さい。ブースの番号は 19 で会場の入口近くです。なお 9 月 26 日の夜開催予定の国地センター同窓会の案内もそこになるべく早めに掲示しますのでご覧下さい。

鹿嶋 俊英  
国際地震工学センター 主任研究員

-----  
[2] 2011-2012 研修生 23 名が帰国の途に

第 52 回国際地震工学研修を終えた 14 ヶ国からの合計 23 名の研修生は、9 月 11 日に国土交通大臣を表彰して 9 月 13 日には建研で閉講式を済ませ、9 月 14 日に政研大で修士号を授与され 9 月 15 日に全員帰国の途につきました。

黒澤 肇  
国際地震工学センター管理室長

-----

[3] 10月からまた新たな研修生を迎えて開講

次の第53回国際地震工学研修は、10月4日に開講式を行います。(政研大入学式は10月3日) 次の23名の研修生の出身国は以下の通りです。インドネシア、フィリピン、中国、ミャンマー、ネパール、パプアニューギニア、イラン、ウガンダ、アルメニア、ニカラグア、エクアドル、ペルー、チリ、ドミニカ共和国、トルコ、トルクメニスタン (16ヶ国)

黒澤 肇

国際地震工学センター管理室長

[4] 国際地震工学センター職員の紹介



森田 高市  
国際地震工学センター  
上席研究員

ニュースレターを配信している元研修生の一人 (Mr. Muhammad Hafeez BUTT, Pakistan, 1977-78 地震学コース)から、国地センターのスタッフ紹介をしてほしいとの要望がありました。

今回は、地震工学コースのコースリーダーをご紹介します。

2011年に国際地震工学センターに異動になり、以来地震工学コースのリーダーを担当しています。国地に来る前には、いくつかの講義や個人研修の指導も行っており、ある程度国地の活動について理解しているつもりでした。昨年、講義の重複やカリキュラムの見直しのために、すべてのレクチャーノートに目を通す機会がありました。建研の中に、このような非常に素晴らしく密度の高い研修コースがあることを再認識しました。講師の皆様へ感謝いたしますとともに、今後も、よりよい研修コースとなるよう、微力ながら努力する所存です。

\*\*\*\*\*

このニュースレターは、これまでの研修生（英語メールのみ）と関係者の方々にお送りしています。皆様のご意見や情報をお待ちしております。(編集：J.S.)

Email: [iiseenews@kenken.go.jp](mailto:iiseenews@kenken.go.jp)

website: <http://iisee.kenken.go.jp>

ニュースレター バックナンバー : <http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

\*\*\*\*\*